

◎昭和47年度第3回理事会議事録(47.8.22) 出席者：岡本会長、石川、坂野、篠原、横道(委任状)の各副会長、下村専務理事、浅間、荒木、後藤、鈴木(委任状)、田辺、長尾、難波、林、半谷(委任状)、平嶋(委任状)、福岡、松本、三浦、吉田の各理事、渡辺監事。議事録署名理事の決定：岡本会長、下村専務理事、福岡理事。A. 報告事項：1) 会計報告：下村専務理事から説明があり、了承。2) 刊行物頒布報告、3) 各種委員会 その他報告の2件について、説明を省略して了承。4) 会務担当(合同) 理事会報告：下村専務理事から、去る8月14日(月)に会務担当(合同) 理事会を開催し、①土木学会の財政について、②会員名簿の発行について、種々検討した結果、①については会員の増加に努めること、②については名簿発行に伴う協力金の提出を願ってはどうか、というのがおおよその意見であった旨の報告があり、具体的には議題1および2において審議することになった。5) 会務担当(総務、調査研究) 理事会報告：下村専務理事から、去る8月15日(火)に会務担当(総務、調査研究) 理事会を開催し、第2回理事会において岡本会長から発言のあった日本学術会議に設置されている「都市・地域・国土問題」および「環境問題」の2特別委員会に対応する土木学会の体制をどう考えるべきかについて、水資源問題懇談会座長石原藤次郎君、総合開発懇談会座長八十島義之助君および衛生工学委員会環境問題小委員会委員長松本順一郎君の出席を求め、その意見を聞いて検討した旨の報告があり、具体的には議題3)において審議することになった。B. 協議事項：1) 土木学会の財政について：下村専務理事および事務局員から、資料により昭和47年度予算、正会員が増加した場合の収支試算、土木工学関係学校卒業生数およびこれに関連する入会者数等についての説明があった後、種々論議されたが、主な発言概要は、会員増加のために魅力ある学会とすることに努め、特に学会誌の平易化、内容に工夫をこらすとともに、特別会員の増加に努めるべきであるとし、今後も引き続き他学会の例も参考にして検討することに決定。なお、理事および監事が在職する職場に職場班がない場合は職場班を設け、また、すでに職場班のある場合はその強

化に、それぞれ努めることを申し合せた。2) 会員名簿の発行について：下村専務理事から説明があった後、種々論議された結果、来年度発行会員名簿については、財政事情の理由により、会員に協力金の拠出を願う方向でさらに具体的事項を検討することに決定。3) 日本学術会議の特別委員会に対応する土木学会対策について：事務局員が資料を朗読した後福岡理事から詳細な説明があり、今後も引き続き担当理事を中心として企画委員会委員長の意見をききながら検討することに決定。4) その他：①支部長、幹事長会議の議題について：来る8月29日(火)開催の昭和47年度支部長・幹事長会議議題として各支部提案の議題を事務局員が朗読した後、下村専務理事からあらかじめ検討願いたい旨の発言があり、了承、②会員入退会について：説明を省略して承認、③次の理事会について、④会務担当(総務、経理) 理事会の開催について：下村専務理事から、さきに吉田賞選考委員会から提案のあった吉田徳次郎博士記念基金のとりくずしについて、来る9月6日(水)に会務担当(総務、経理) 理事会を開催したいと提案があり、異議なく了承。

◎各種委員会

(1) 第8回土木計画学研究委員会土木計画学シリーズ編集小委員会(47.7.1) 出席者：長尾委員長、鈴木、天野両総括委員、ほか4名。議事：1) 経過報告。2) 第I～V巻(主としてⅢ、Ⅳ、Ⅴ巻)の目次構成協議。3) その他。

(2) 会誌編集委員会幹事会(47.7.3) 出席者：天野委員長、中村幹事長、ほか7名。議事：1) 経過報告。2) 本年度の編集大綱協議。3) 来期の表紙の件。4) 来期中絵シリーズの件。5) 来期講座の件。6) その他。

(3) 会誌編集小委員会(47.7.3) 出席者：天野委員長、中村幹事長、ほか13名。議事：1) 経過報告。2) 会誌57巻11号の編集作業。3) その他。

(4) 土構造物の設計標準に関する研究委員会第1回幹事会(47.7.4) 出席者：関係者14名。議事：1) 幹事の交代について。2) 昭和47年度研究計画(案)について。3) 坑土圧構造物第4章地中構造物の原案審議。

(5) 海岸工学委員会第2回幹事会(47.7.5) 出席者：岩垣委員長、堀川幹事長、ほか7名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 第19回海岸工学講演会について。3) 海岸工学講演会論文集販売促進にやくだつ論文の掲載について。4)

第19回海岸工学講演会論文集掲載業界案内欄について。

(6) 昭和47年度第1回海岸工学委員会(47.7.5) 出席者：岩垣委員長、ほか26名。議事：1) 議事録の確認。2) 交代委員の紹介。3) 第19回海岸工学講演会について。4) 海岸工学講演会論文集販売促進にやくだつ論文掲載について。5) 第19回海岸工学講演会論文集業界案内欄掲載について。

(7) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会(第11回)(47.7.5) 出席者：大久保委員長、ほか7名。議事：1) 昭和47年度の活動方針について。2) 現地視察について。

(8) 企画委員会幹事会(第2回)(47.7.5) 出席者：堀委員長、ほか5名。議事：土木学会のあり方について。

(9) 合成桁鉄道橋の設計標準に関する研究委員会幹事会(47.7.6) 出席者：関係者7名。議事：SM50の条文の審議、検討。

(10) 文献調査委員会(47.7.6) 出席者：伊藤委員長、ほか11名。議事：1) 会誌57巻9号登載抄録について。2) 抄録委員について。3) 解説記事について。4) その他。

(11) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会(第15回)(47.7.7) 出席者：関係者8名。議事：塗装に関する検討。

(12) 水理委員会在京幹事会(47.7.8) 出席者：関係者4名。議事：第8回水工学に関する夏期研修会講義集の編集作業を行なった。

(13) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第7回委員会(47.7.10) 出席者：久保委員長、ほか28名。議事：1) 耐震設計指針(案)について。2) 昭和46年度活動方針について。

(14) 原子力土木委員会コンクリート分科会(47.7.10) 出席者：西沢主査、百島主査、ほか7名。議事：プレストレストコンクリート原子炉構造物設計施工要領案/ライナーの設計、冷却システムの設計、断熱材の設計。

(15) 土木工学ハンドブック編集委員会(第1回)(47.6.24) 出席者：八十島委員長、下村専務理事、山本委員長代理、千秋幹事長、駒田幹事長代理、ほか56名。議事：1) 経過報告。2) 委員会内規および構成について。3) 編集要綱について。4) 出版計画。5) 編集作業計画。6) 土木工学ハンドブック内容構成について：①各編設定方針、②各編内容。7) その他(事務的事項)。

(16) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会鋼材分科会疲労分科会合同分科会(47.7.12)出席者:関係者16名。議事:80キロ鋼の疲労試験計画について。

(17) 水理委員会第8回水工学に関する夏期研修会編集作業(47.7.12)出席者:高橋,椎貝の両委員兼幹事。議事:第8回水工学に関する夏期研修会講義集編集作業。

(18) 原子力土木委員会(47.7.13)出席者:永田委員長,ほか26名。議事:1)委員長挨拶。2)新委員および委員交代の紹介。3)専務理事挨拶。4)第3回委員会議事録の確認。5)委員会概況報告および経理状況報告。6)各部会報告。7)その他。

(19) 岩盤力学委員会第1分科会グラウト班幹事会(47.7.13)出席者:関係者2名。議事:“ダム基礎岩盤のグラウチングの施工指針実例集(出版物)”の原稿とりまとめ。

(20) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会第2回幹事会(47.7.14)出席者:岡本委員長,伊吹山副委員長,田村幹事長,ほか13名。議事:1)前回事業録の確認。2)沈埋トンネル耐震設計指針原案の審議。

(21) 岩盤力学委員会第1分科会地質調査班打合せ(47.7.14)出席者:広瀬主査,末富班長,ほか6名。議事:“地質調査に関する解説書(出版物)”の原稿の検討。

(22) 鋼構造架設基準小委員会縮小準備会(47.7.14)出席者:友永鋼構造委員会委員長,ほか6名。議事:1)第1回準備会議事録の確認。2)鋼構造設計基準作成について。3)今後の進め方。

(23) 青函トンネル土工研究委員会土庄小委員会(第3回)(47.7.15)出席者:関係者14名。議事:1)測定坑の計画について。2)現地視察について。

(24) 合成桁鉄道橋の設計標準に関する研究委員会第1回委員会(47.7.18)出席者:沼田委員長,ほか22名。議事:主としてSM 58鋼材の取扱いについて。

(25) 耐震工学委員会第10回常任委員会(47.7.19)出席者:岡本委員長,久保副委員長,ほか25名。議事:1)IAEEについて。2)本州四国連絡橋耐震研究小委員会について。3)ISOについて。4)第12回地震工学研究発表会について。5)土木技術者のための振動便覧(出版物)について。6)英文耐震規定(1968年版)の改訂について。

(26) 本州四国連絡橋耐風研究小委員

会第9回委員会(47.7.19)出席者:大久保委員長,ほか14名。議事:1)委託者あいさつ。2)小委員会構成について。3)昭和47年度調査計画および活動方針。4)昭和46年度調査研究結果の報告。5)現地視察について。

(27) 論文集編集委員会第1小委員会(47.7.19)出席者:岡内主査,ほか14名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿。4)主査幹事会報告。5)査読者名簿について。6)その他。

(28) 終局強度設計小委員会幹事会(47.7.20)出席者:河野主査,ほか12名。議事:1)配布資料説明。2)R22設計用値について。

(29) プレストレストコンクリート杭設計施工指針小委員会(47.7.20)出席者:最上委員長,国分副委員長,ほか27名。議事:プレストレストコンクリート杭設計施工指針(案)の逐条審議を終了した。

(30) 海外工事契約仕様書研究会(47.7.20)出席者:吉越主査,ほか16名。議事:テキスト第13章,第14章につき検討協議を行なった。

(31) 論文集編集委員会第5小委員会(47.7.20)出席者:岩間主査,ほか9名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿。4)主査幹事会報告。5)査読者名簿について。6)その他。

(32) 建設コンサルタント委員会(47.7.20)出席者:猪瀬委員長,ほか12名。議事:建設コンサルタント業法について。

(33) 土構造物の設計標準に関する研究委員会第2回幹事会(47.7.21)出席者:関係者14名。議事:1)前回事業録の確認。2)坑土工構造物第3章橋台の原案審議。

(34) 構造工学委員会構造物安全性研究小委員会準備会(47.7.21)出席者:小西委員長,ほか13名。議事:1)経過報告。2)小委員会の運営方法。3)講演「米国における構造物の安全性,信頼性の研究の現況について」京都大学 塚塚正宜委員。

(35) 論文集編集委員会第3小委員会(47.7.21)出席者:久野委員長,稲田主査,ほか9名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿。4)主査幹事会報告。5)査読者名簿について。6)その他。

(36) 論文集編集委員会第4小委員会(47.7.21)出席者:松本主査,ほか7

名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿。4)主査幹事会報告。5)査読者名簿について。6)その他。

(37) 土木計画学研究委員会幹事会(47.7.22)出席者:長尾幹事長,ほか10名。議事:1)経過報告。2)第7回土木計画学シンポジウム実施原案協議。3)次回土木計画学本委員会への提出案件協議。4)その他。

(38) 土木計画学研究委員会土木計画学シリーズ編集小委員会(第9回会合)(47.7.22)出席者:長尾委員長,ほか13名。議事:1)経過報告。2)第III~IV巻の収載内容,目次協議。3)その他。

(39) 土木工学ハンドブック編集委員会拡大幹事会(47.7.25)出席者:千秋幹事長,駒田幹事長代理,ほか49名。議事:1)経過報告。2)編集作業計画。3)各編内容およびページ数配分に関する意見の開陳と調整。4)各編の執筆者に関する件。5)執筆要領(案)の検討・決定。6)今後の作業予定。

(40) 鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会幹事会(47.7.25)出席者:村上主査,ほか8名。議事:1)今後のとりまとめについて。2)汎用RCセグメントの規格化に関する研究委託について。

(41) 原子力土木委員会耐震部会(47.7.26)出席者:岡本部長,ほか16名。議事:1)研究活動フローチャートについて(東地区)。2)取放水路耐震問題のとりまとめ他について(中地区)。3)安定計算結果について(東地区,八千代)。4)地盤内応力計算方法について提案(西地区)。5)動的計算結果の評価と整理(東・中・西地区)。

(42) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会解析分科会(第5回)(47.7.26)出席者:大地主査,ほか13名。議事:トラスのねじれ解析について。

(43) 論文集編集委員会第2小委員会(47.7.26)出席者:室田主査,ほか9名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿。4)主査幹事会報告。5)査読者名簿について。6)その他。

(44) 論文集編集委員会主査幹事会(47.7.26)出席者:久野委員長,室田副委員長,岡内,稲田,松本,岩間の各主査,ほか5名。議事:1)前回事業録の確認。2)各小委員会報告。3)論文報告集206号登載原稿について。4)査読者名簿について。5)各部門原稿処理状況について。6)その他。

(45) 鋼構造委員会鋼構造架設小委員会(第1回)(47.7.26)出席者:菊池委員長,ほか13名。議事:1)議事録の確認。2)作成内容,作成方法等について。3)今後の運営方法について。

(46) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会実験橋作業分科会(第9回)(47.7.27)出席者:岡内主査,ほか10名。議事:耐風実験橋について。

(47) 原子力コンクリート分科会打合会(47.7.27)出席者:関係者3名。議事:プレストレストコンクリート原子炉構造物設計施工要領(压力容器・格納容器)について。

(48) RC設計分科会(47.7.28)出席者:関係者9名。議事:プレストレストコンクリート標準示方書の逐条審議。

(49) トンネル覆工における鋼製支保工の効果に関する研究小委員会(47.7.28)出席者:浜委員長,ほか13名。議事:1)前回委員会の審議内容の説明。2)有限要素による解析結果の検討。3)委員会報告書(案)の検討。

(50) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会座屈分科会(第8回)(47.7.28)出席者:関係者13名。議事:主塔設計要領について。

(51) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会(47.7.28)出席者:岩井委員長,ほか10名。議事:昭和47年度の運営方針について。

(52) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会熱処理分科会打合会(47.7.29)出席者:左合主査,ほか8名。議事:藤沢市熱処理装置の日常運転の評価:1)長期間にわたる処理成績。2)装置の性能,耐久性。3)臭気成分の検討と防止対策。4)脱水ケーキの性状と処分性。5)分離液の水処理におよぼす影響(重金属の検討を含む)。

(53) 土木計画学研究委員会(47.7.29)出席者:米谷委員長,長尾幹事長,ほか18名。議事:1)経過報告。2)委員会人事の件。3)第7回土木計画学シンポジウムの件。4)計画用語小委員会設置の件(チーフは幹事長併任)。5)その他。

(54) トンネル工学委員会シールド工法小委員会汎用RCセグメントの規格化に関する研究分科会(47.7.31)出席者:山本主査,村上副主査,ほか22名。議事:1)開会挨拶。2)委員自己紹介。3)経過説明。4)今後の運営方針。

(55) コンクリート標準示方書改訂小委員会主査打合会(47.8.1)出席者:国分委員長,ほか13名。議事:1)各分科

会改訂方針の検討。2)各分科会構成について。3)今後の運営方針。

(56) コンクリート委員会打合会(47.8.1)出席者:国分委員長,ほか13名。議事:科学研究費について。

(57) 衛生工学委員会打合会(47.8.1)出席者:関係者8名。議事:1)水高度利用報告書の発刊について。2)47年度調査研究の方針。

(58) 会誌編集委員会書評小委員会(47.8.2)出席者:鮎川委員長,ほか5名。議事:1)経過報告。2)受付図書査読。3)ブックガイド欄の件。4)その他。

(59) 原子力土木委員会コンクリート部会コンクリート分科会(47.8.3)出席者:百島主査,ほか14名。議事:プレストレストコンクリート原子炉構造物設計施工要領(案)について。

(60) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会現地視察(47.8.3~6)出席者:大久保委員長,ほか10名。視察先:本州四国連絡橋の3ルート。

(61) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会海洋処分分科会(47.8.5)出席者:関係者6名。議事:1)重金属とPCBの汚泥への濃縮と海洋への溶出の解析。2)遠洋における環汚泥の挙動をあらわすシミュレーションモデルの作製および総まとめ。3)遠洋性魚類の卵,稚魚,成魚に対する都市下水汚泥の影響調査。

(62) 土木計画学研究委員会土木計画学シリーズ編集小委員会(第10回会合)(47.8.5)出席者:長尾幹事長,ほか6名。議事:1)経過報告。2)第I~第V巻の目次編成,ページ割,執筆・編集担当者決定。3)その他。

(63) 行事企画委員会幹事会(47.8.7)出席者:森委員長,嶋副委員長,ほか2名。議事:1)前回議事録の確認。2)次回委員会の議題。3)夏期講習会について。

(64) 会誌編集委員会幹事会(47.8.7)出席者:天野委員長,中村幹事長,ほか5名。議事:1)経過報告。2)今期中絵シリーズの協議。3)今期の特集シリーズの協議。4)来年度の表紙図案協議。5)その他。

(65) 原子力土木委員会コンクリート部会コンクリート分科会(47.8.7)出席者:百島主査,ほか8名。議事:プレストレストコンクリート原子炉構造物設計施工要領(案)について。

(66) 鋼構造委員会鋼構造物の進歩調査小委員会設置準備会(47.8.7)出席

者:関係者6名。議事:1)経過報告。2)研究テーマおよび小委員会構成について。3)予算について。

(67) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第8回委員会(47.8.7)出席者:久保委員長,ほか26名。議事:1)委員の交代。2)耐震設計指針(案)について。3)各グループの活動方針について。

(68) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会設計分科会(47.8.8)出席者:河野副委員長,猪股主査,ほか9名。議事:プレストレストコンクリート設計施工指針の逐条審議。

(69) 企画委員会幹事会(第3回)(47.8.8)出席者:堀委員長,ほか5名。議事:土木学会のあり方について。

(70) 会誌編集小委員会(47.8.9)出席者:天野委員長,中村幹事長,ほか9名。議事:1)経過報告。2)学会誌57巻12号の編集。3)その他。

(71) 土木構造物の取替標準に関する研究委員会トンネル分科会(47.8.10)出席者:関係者11名。議事:トンネルに関する研究項目について。

◎その他

(1) 第12回地盤工学研究発表会(47.7.18~19)

会場:土木図書館講堂

参加者:約210名

講演数:33題(内特別講演2題)

◎懇親会(7月18日)参加者30名 (2) 第8回水工学に関する夏期研修会(47.7.26~8.3)

会場:土木図書館講堂

期日:7月26日(水)~8月3日(土)の8日間

参加者:Aコース166名

Bコース161名

講演題数:Aコース12題

Bコース10題

(3) 構造物の耐風性に関する第2回シンポジウム組織委員会第1回幹事会(47.8.7)出席者:関係者4名。議事:1)応募論文の確認およびプログラム(案)の作成。2)特別講演について。3)原稿執筆要領について。4)予算(案)について。

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 第2回昼食会(47.8.11,支部事務局)出席者:松本幹事長,ほか10名。講演:西栗子トンネル路面修繕工事について 日本舗道(株)仙台支店長市村敏行氏。議題:1)土木学会会員の増

強方法について。2) 土木学会は いかにあるべきか。

(2) 講演と映画の会 (47.9.6, 建設会館)

講演:

1. 東北開発について

建設省 東北地方建設局長 神谷 洋

2. 青函トンネル工事について

国鉄青函建設局長 足立 貞彦

映画:

1. 青函トンネル工事第2編

国鉄青函建設局提供

2. 北上川 建設省東北地方建設局提供

参加者: 150 名

(3) 第3回昼食会 (47.9.12, 支部事務局) 出席者: 多谷支部長, ほか 20 名。1) 講演: 水害と河川蛇行について, 東北大学 坂本竜雄教授。2) 議事: 土木学会会員増強方法について, 土木学会は いかにあるべきか。3) 事務局報告。

◎関西支部

(1) 鉄骨鉄筋コンクリート (S.R.C.) 設計基準に関する講習会 (47.7.25, 大阪科学技術センター)

主催: (社) 土木学会関西支部・(社)

建設コンサルタント協会大阪支部・建設技術資料センター

後援: 日本鋼構造協会関西地区連絡会・コンクリート研究会

題目と講師:

1. 調査研究の概要

京都大学工学部 岡田 清

2. S.R.C.設計基準 (第1次素案) の概要

神戸大学工学部 藤井 学

3. 適用範囲・記号, 材料, 設計荷重, 許容応力度, 設計計算の一般事項

阪神高速道路公団 杉山 功

4. 設計計算の一般事項

協和設計 (株) 本下 稔

5. 部材の算定 (はり・柱・スラブ・壁・せん断力に対する算定・付着および鉄筋の定着・ねじり・ひび割れ幅の制限)

(株) 新日本技術コンサルタント

小森 久信

6. 接合部の算定 (ラーメン隅角部の設計・継手・柱脚アンカー部の設計)

(株) 橋梁コンサルタント大阪営業所

田付 久雄

7. 設計計算例 (アンカー部・長方形断面部) 中央復建コンサルタント (株)

熊本 隆弘

討議:

討論者 京都大学防災研究所 若林 実

京都大学工学部 森田 司郎
首都高速道路公団 泉 清明

司会 京都大学工学部 小柳 治

参加者: 292 名 (会員 263 名, 非会員 29 名,

参加費: 会員 3 800 円, 非会員 5 700 円

(2) 第3回幹事会 (47.8.9, 土木学会関西支部) 出席者: 後藤幹事長, ほか 11 名。

(3) 計画担当幹事会 (第1回) (47.8.4, 土木学会関西支部) 出席者: 後藤幹事長, ほか 9 名。

(4) 担当専任幹事打合せ (47.8.4, 土木学会関西支部) 出席者: 後藤幹事長, ほか 4 名。

(5) 企画担当幹事会 (第1回) (47.8.9, 土木学会関西支部) 出席者: 後藤幹事長, ほか 9 名。

(6) 「掘削・土留工事の基礎的な問題」講習会打合せ (第2回) (47.7.26, 土木学会関西支部) 出席者: 土木学会, 土質工学会より 6 名。

編集後記

——壺阪祐三・記

去る 6 月に会誌編集委員会が改組され千秋委員長から天野委員長に引継いで 4 か月になります。この号は新委員会が企画段階からタッチした第 1 号になります。新委員会としての編集方針, 特集号の企画などを委員長・幹事長を中心にとりあえず一般号としてまとめてみました。もとより, 会員の立場にたつて, 会員に良質の情報を提供するという会誌編集の基本方針に変わりはないのですが, 少しずつ特色が出てくると思われま。ご期待下さい。来月号はさっそく“新交

通システム”の特集号とし, 交通システムの紹介と各界の意見が収録される予定です。

会誌編集作業の大略は次のようです。担当編集幹事案の作成——幹事会の討論を経て幹事会案の作成——委員会での決定を経て成案を得, 事務局に回されます。書き上げられた原稿は再び委員会の審査を受けた後, 会誌に掲載されることになります。立案に当る幹事さんのご苦労は大変なものです。忙しい本業をお持ちの上に月に 2 度も 3 度も会合され企画を練っておられるようです。また, 事務局には会誌の歴史を頭の中にきちんとファイルされた職員がおり, 幹事さんの作業の大きな支えになっております。立派な会誌が次々と生まれるのは, この人達

の努力に負うといえます。

編集委員会は土木技術の各分野を含む委員によって運営されておりますので, 編集方針に偏りはないものと確信しておりますが, 情報が多い程, 選択の幅が広がることとなりますので, 編集方針, 特集テーマなどについて会員の皆様のご意見をお寄せ下さい。参考にさせていただきます。

今月号はジャーナリストの報告を通じて断片的に知っていた海外工事でトラブルを, 直接その場に当たられて苦勞なされた方々からの報告としてまとめて掲載できました。そのほか, 東京地下駅の防災設備, PC 原子炉格納容器, 空港設計のための情報源など, 広範囲にわたって活躍している土木技術者からの報告を収録しています。

土木学会トンネル工学委員会・沈埋トンネル小委員会 編集

沈埋トンネル要覧

B 5 188 ページ
2 000 円 (〒 140 円)

申込先: 〒 160 東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会刊行物頒布係または書店
Tel. 351-4131 (直) 振替 東京 16828

主要目次

第1編 総論	1.1 水底トンネル建設工法概説	1.2 沈埋トンネル概説
	1.3 沈埋工法の2大方式	
第2編 計画と調査	2.1 予備検討	2.2 調査
第3編 設計	3.1 沈埋かんの設計	3.2 取付部の設計
第4編 施工	4.1 沈埋かんの製作	4.2 トレンチ
	4.5 埋戻しと内部仕上げ	4.3 基礎工
		4.4 沈設・接合作業